

東北大学病院第1回BCP講演会を開催しました(2019/1/24)

テーマ：実効性のある病院BCP、事業継続マネジメント（BCM）
場所：東北大学病院（宮城県仙台市）

2019年1月24日(木)、東北大学病院第1回BCP講演会が開催され、当研究所の江川新一教授、佐々木宏之助教（災害医学研究部門 災害医療国際協力学分野）が東北大学病院BCP委員会事務局として運営に携わりました。

東北大学病院は2017年11月にBCP第1版を策定、その後も月に一度のペースでBCP委員会を開催し、事業継続マネジメント（BCM）に取り組んできました。委員会では「専門家をお招きし是非お話をうかがってみたい」「職員へのBCP啓発が必要」との意見も多く、今回第1回目講演会開催へとつながりました。

講師に徳島大学環境防災研究センターの湯浅恭史助教をお招きし「実効性のある病院のBCPとは」をテーマに約1時間、ご講演頂きました。湯浅助教からは熊本地震、西日本豪雨で被災した病院のBCPについての具体的な調査結果を交えながら、BCPの基礎から実践にわたる幅広いお話を頂戴しました。また、その後の質疑応答では「BCPの実効性を高めるための訓練のあり方」などについて活発な討論が行われました。

東北大学病院BCPは2019年3月に第2版へと更新され、今後もBCM活動が引き続き実施されます。このような講演会を繰り返し開催することで、3000名を越す多くの職員に広くBCPを啓発して予定です。



司会進行役の江川新一教授



病院BCPについて講演する湯浅恭史助教

文責：江川新一、佐々木宏之（災害医学研究部門）